

御堂筋にヒマワリの花壇

地元NPO法人の女性メンバーが企画

大阪のメインストリート・御堂筋

の歩道にミニヒマワリが咲く花壇が登場し、明るい黄色が街に華やかな彩りを与えている。花を植えたり世話をしたりしているのは、周辺のオフィスで働く女性らで、毎日の水やりも、出勤前や仕事帰りに当番制で行っている。

花を植えたのは、長堀通の沿道企業などで組織するまちづくりのNPO法人「御堂筋・長堀21世紀の会」の女性会員ら。女性の目線でまちづくりを考えたいと今年、NPO内に女性だけの部会が発足した際、メンバーから「何とかしたい」と声が上がったのが、御堂筋と長堀通が交差する新橋交差点の歩道内の植え込み

だった。

常緑の低木が植えられていたが一部が枯れて、雑草が目立つ状態。世界的なブランドショップが並び、大阪の顔でもある通りなのだから、花を植えてもっと華やかにしたいと、管理する大阪市建設局と交渉した結果、NPOと市が協働して管理するという協定を結んだ。

黄色に色づく御堂筋のイチョウのイメージから、黄色の花を選んで6月に苗を植え、市職員のアドバイザーを受けながら手入れを続けている。女性部会長の米田奈々美さん(42)は「毎日の水やりは思った以上に大変ですが、街を歩く人たちに花を見てなごんでもらいたい」と話している。



御堂筋に登場したミニヒマワリの花壇。NPO法人の会員らが世話をしている—大阪市中央区